

三田市まなびと交流・共創施設 設置の背景と施設概要

令和8年2月20日（金）

三田市総合政策部公民連携推進課

1. 三田市の概要



画像：さんだうえるかむサイト
<https://sanda-portal.com/index.html>



- 面積 210.32km² (県下14番目)
- 人口 105,456人 (令和8年1月末)

ACCESS

三田市までのアクセス

三田市は、兵庫県南東部、六甲山地の北側に位置。市内には、大阪と福知山を結ぶJRと、新神戸・三宮に至る神戸電鉄が運行し、主な鉄道駅では路線バスが接続しています。大阪・神戸までは約40分圏内。また、高速道路網の結節点にあり、東西南北にアクセスが便利です。

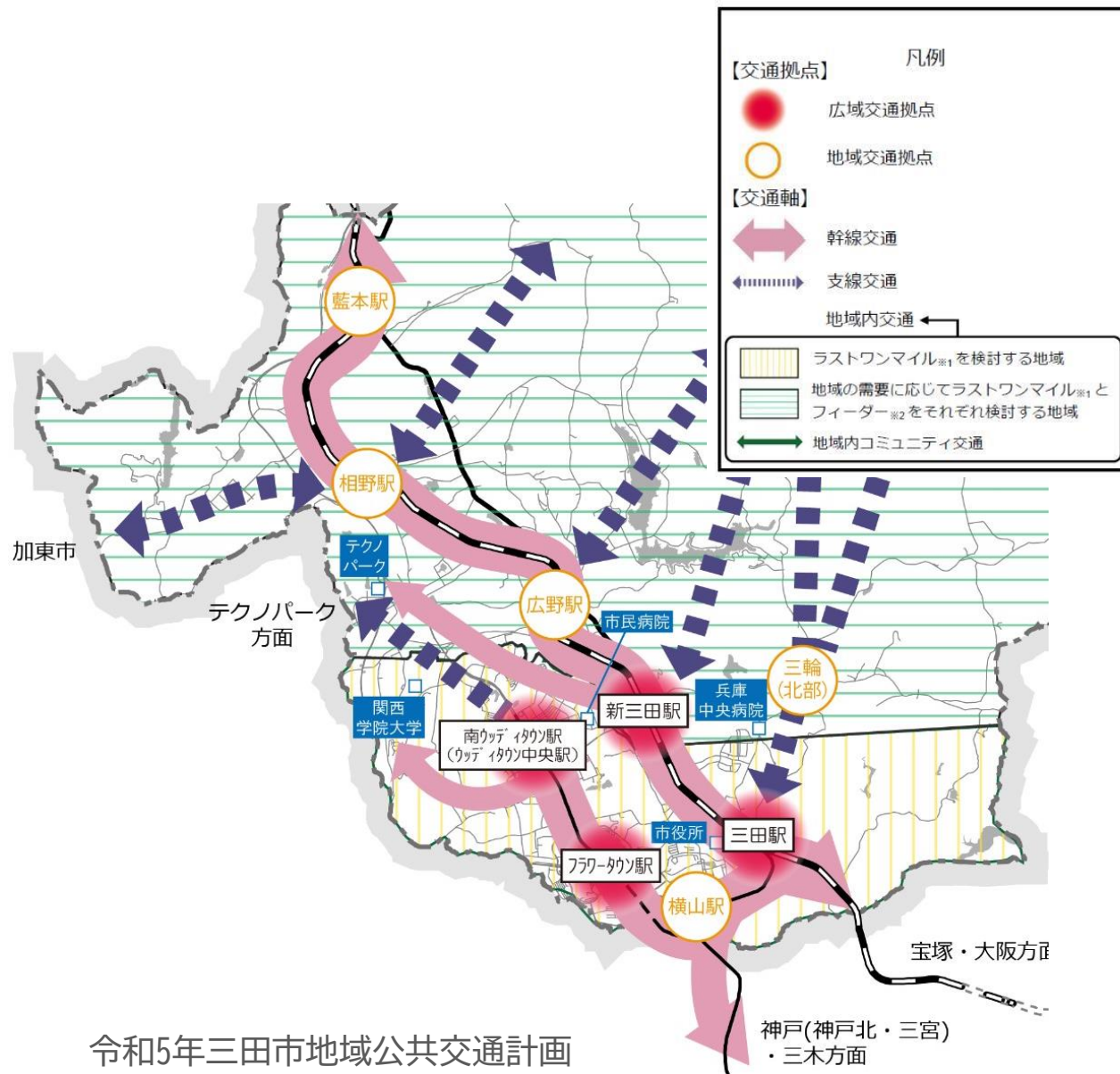


JR福知山線(大阪・三田) 約40分

神戸市営→北神急行電鉄→神戸電鉄(三宮・谷上・三田) 約50分

1. 三田市の概要

- 三田駅周辺は交通網の結節点
 - JR三田駅（宝塚・大阪方面）
 - 神戸電鉄三田駅（神戸方面）
 - 神姫バス（23路線）
- 幹線交通間の接続や広域バス路線への接続機能を有し、市内の中心部や市内外へのスムーズな乗り換えを行う交通拠点です。また、商業や文化、行政等の都市機能が集積し、市内外からの来訪が期待される地域です。

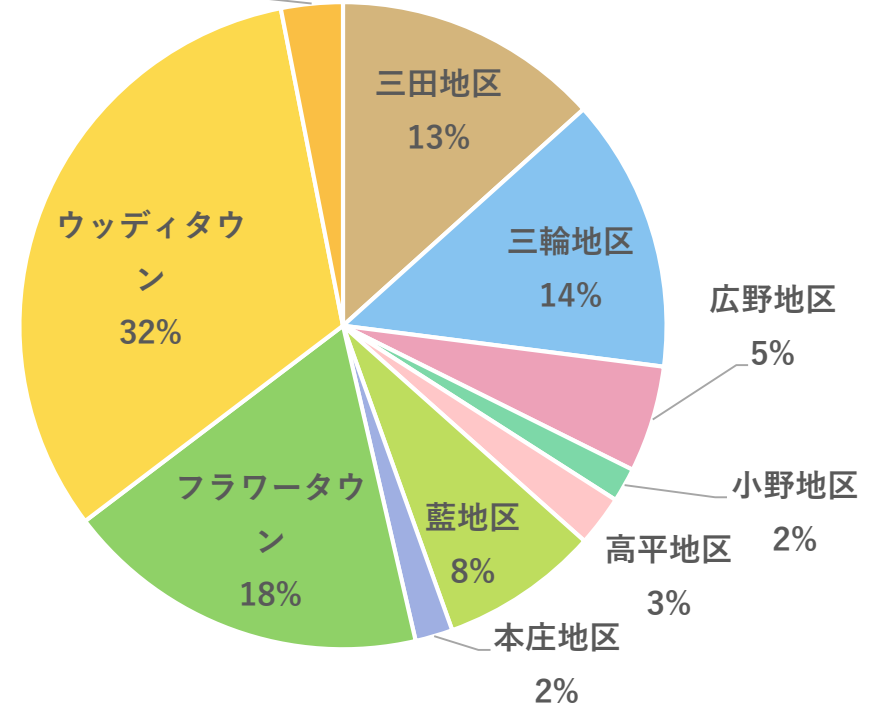


1. 三田市の概要



- 1 三田地区
- 2 三輪地区
- 3 広野地区
- 4 小野地区
- 5 高平地区
- 6 藍地区
- 7 本庄地区
- 8 フラワータウン
- 9 ウッディタウン
- 10 カルチャータウン

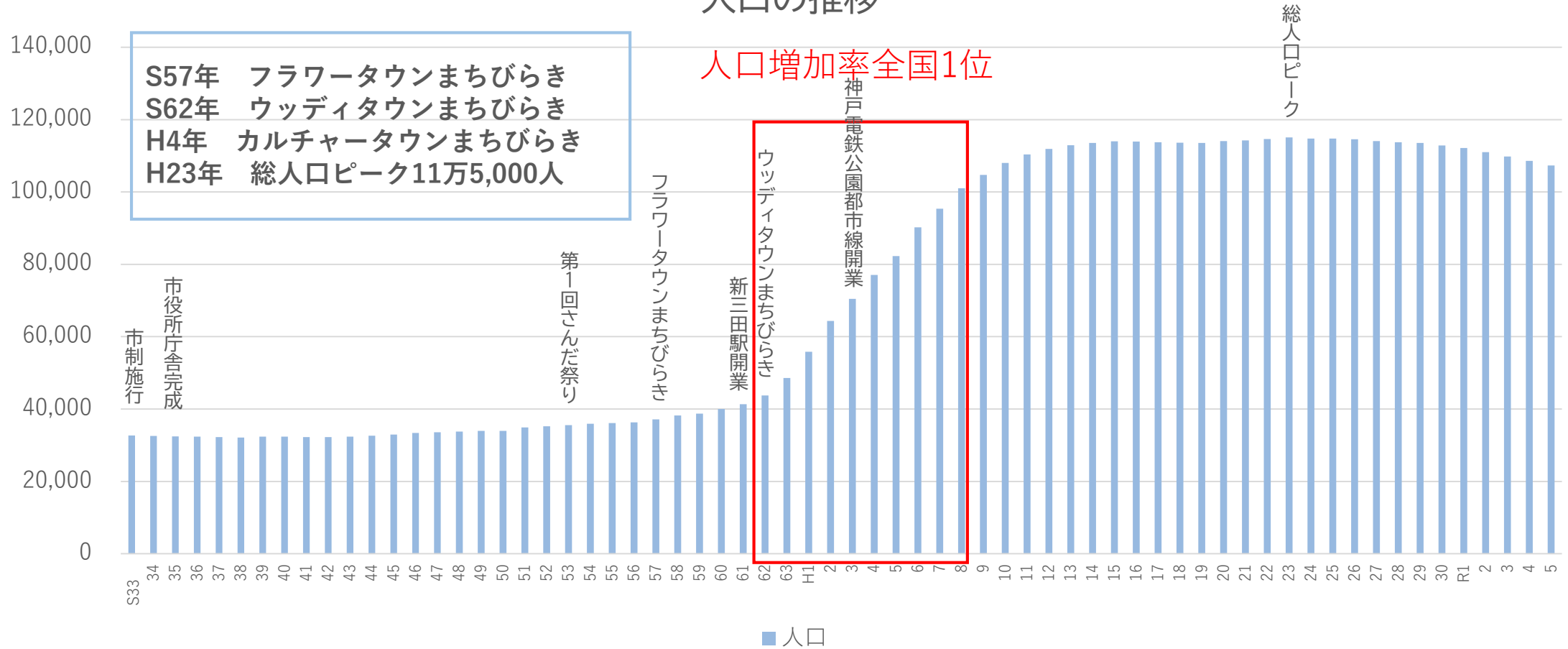
カルチャータウン 3%
地区別人口 (R8年1月末時点)



画像：さんだうえるかむサイト
<https://sanda-portal.com/cgi-bin/recruit.php/3/list/>

2. 三田市の課題と展望

人口の推移



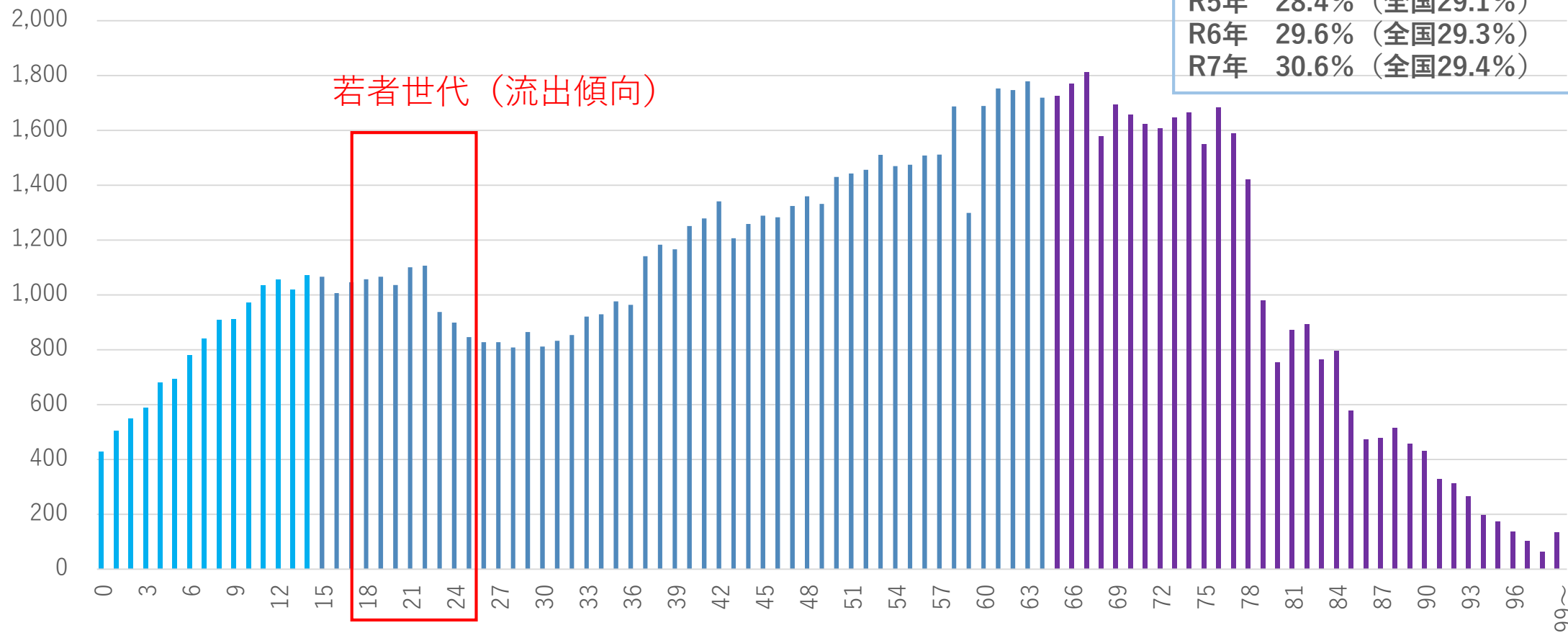
S57年 フラワータウンまちびらき
 S62年 ウッディタウンまちびらき
 H4年 カルチャータウンまちびらき
 H23年 総人口ピーク11万5,000人

人口増加率全国1位

総人口ピーク

2. 三田市の課題と展望

年齢別人口 (R8年1月末時点)

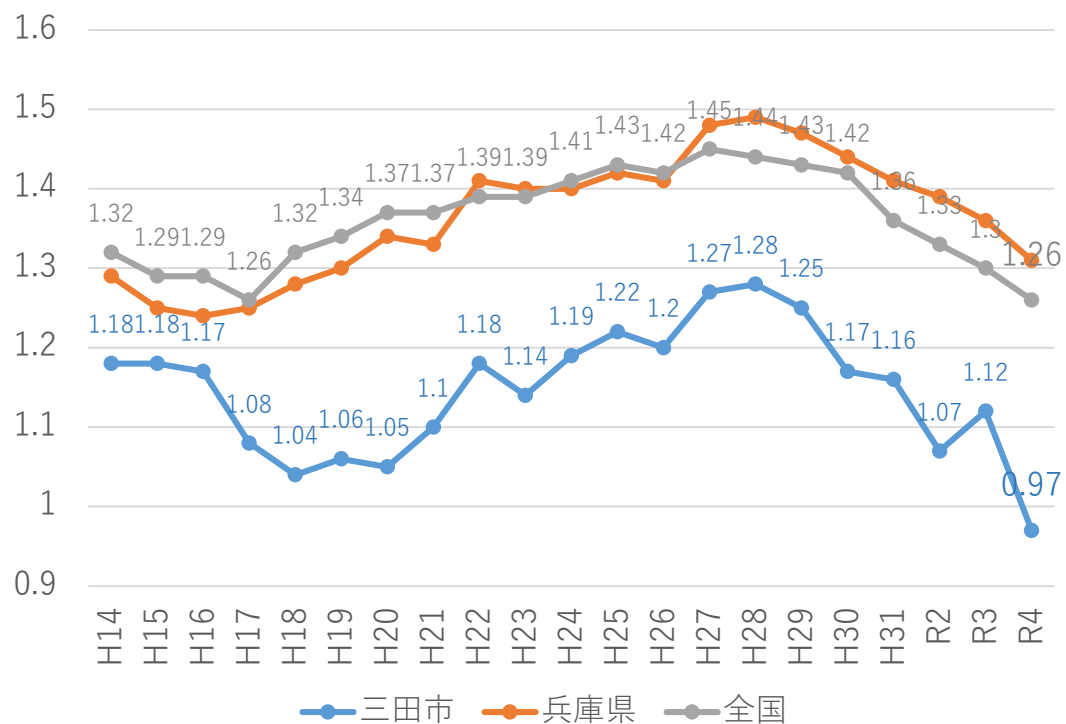


(高齢化率) ※三田市は2月1日基準

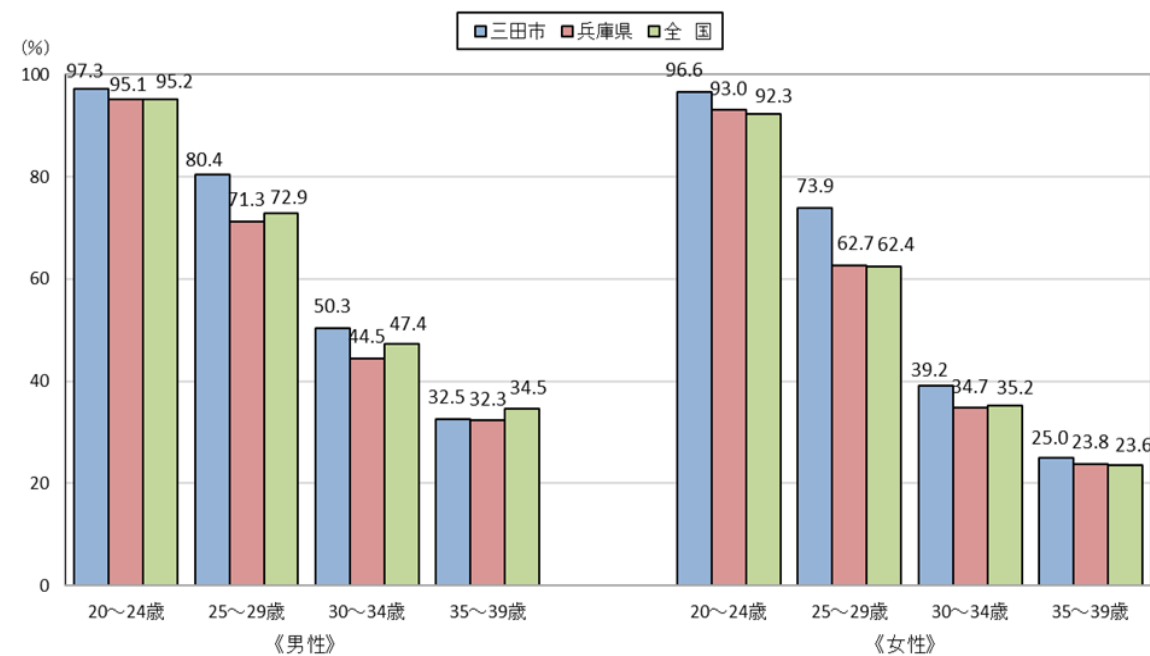
R4年	27.5%	(全国28.8%)
R5年	28.4%	(全国29.1%)
R6年	29.6%	(全国29.3%)
R7年	30.6%	(全国29.4%)

2. 三田市の課題と展望

- 合計特殊出生率の推移



- 男女未婚率 (R2)



※令和2年国勢調査より

2. 三田市の課題と展望

- 子育て世代の人口減少等に伴い、少子化が進行していること。
- 進学や就職を契機とした若者（20歳代）の転出が多いこと。
- IT技術の進展やビジネスモデルの転換などによりスキルアップやリスキリングのニーズが高まっていること。
- 出産や育児を契機としたキャリアの中断や、女性の非正規就業率の高さが懸念されること。
- 本市においては、子どもから若者までを対象とした学びの支援に関するソフト事業が充実していること。
- 市内にまちづくり協働センター、CORELAB SANDA、関学インキュベーション施設や市民センターなど地域活動や起業・創業を支援する拠点が整備されており、その拠点での活動につながる仕掛けが求められること。
- 中心市街地に位置することから、再開発により三田駅周辺及び市全体の活性化が期待されること。

2. 三田市の課題と展望

「学びと交流を通じた自己発見・自己成長の応援」

学 び

若者や子育て世代を中心に、子ども連れであっても利用しやすい施設機能、ソフトを展開し「学びたい」思いを高めます

賑わい

三田駅前の賑わいづくりの入口として、施設へ立ち寄りきっかけとなる施設機能の配置やイベント等の充実を図ります

交 流

若者や子育て世代を中心に幅広い世代の利用を促進し、学びの進化や新たな取り組みの創出等の機会を創ります

2. 三田市の課題と展望

・三田市まなびと交流・共創施設【整備方針】

1. 子育て世代をはじめとした全ての世代へ、スキルアップやリスキリング等の生涯にわたる学びと、子育てと自己実現の両立を支援する施設とすること。
2. 利用者同士の世代や業種を超えた交流が促進され、人と人のつながりを強化する施設とすること。
3. 起業・創業や地域活動の活性化を促進する施設とすること。
4. 高等教育機関や地域団体との連携により創造的な活動を支援し、三田の担い手となる人材を育成する施設とすること。
5. 子ども・若者の学びや成長を促進する市の事業を支援する施設とすること。
6. 地域活動や起業・創業を支援する関連施設とのネットワークの入り口となり、切れ目のない連携が可能な施設とすること。
7. 三田駅周辺の賑わいを創出し、三田駅周辺地区の活性化を牽引する施設とすること。

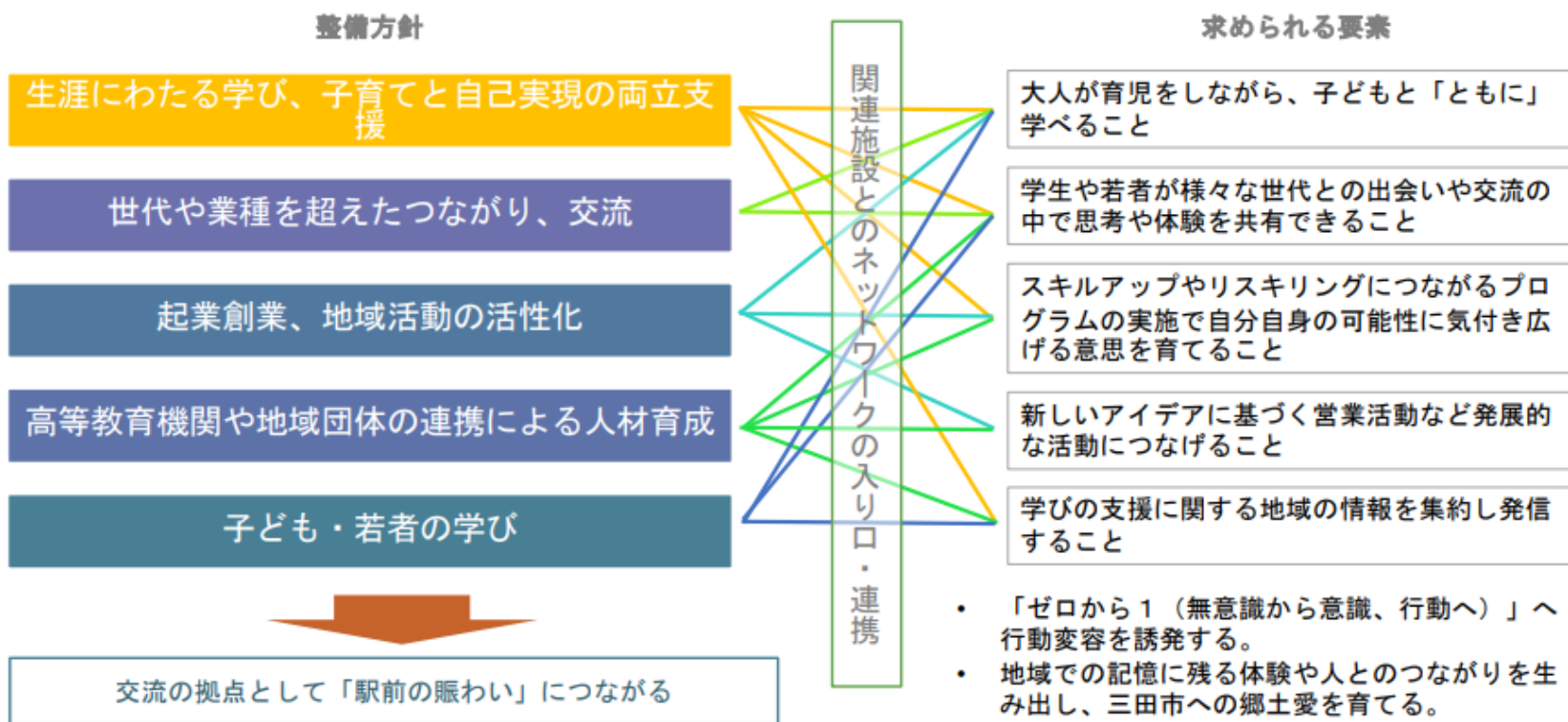
2. 三田市の課題と展望

「共創」とは？

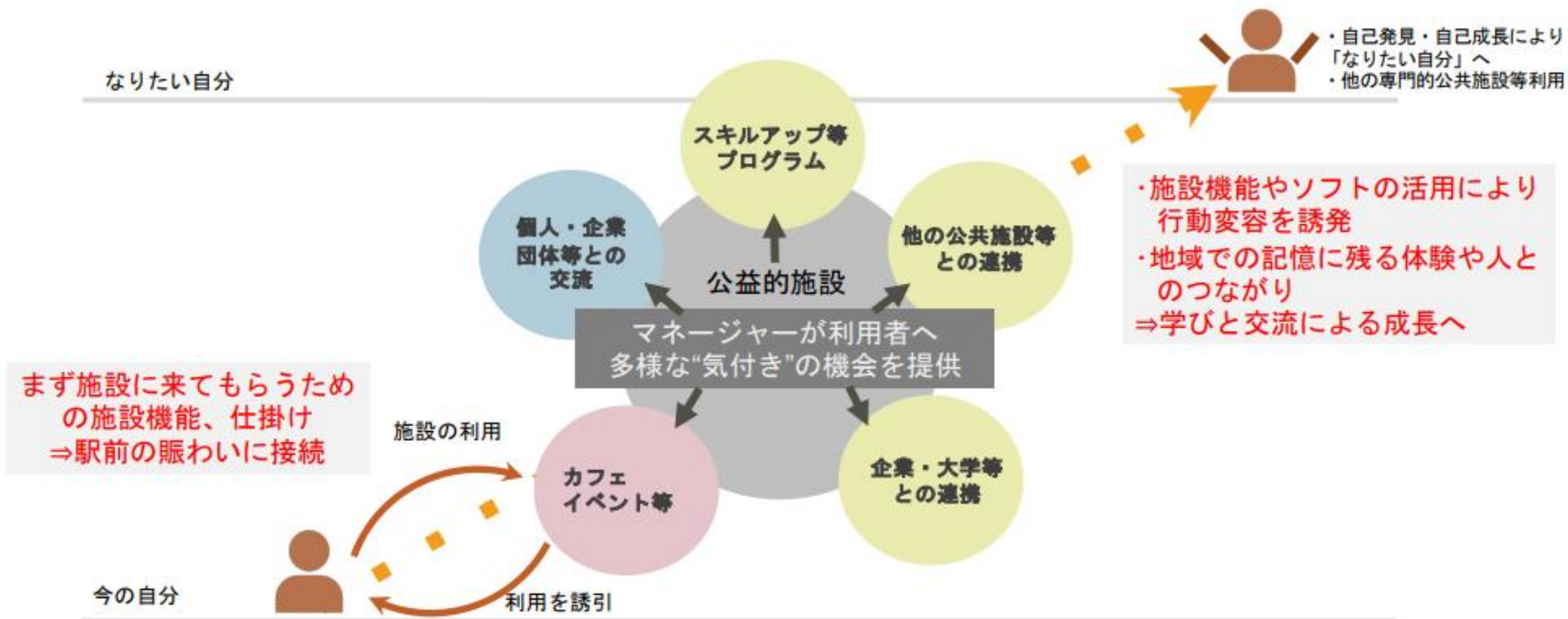
- 立場の異なる多様な人（事業者、市民、行政、市外の人、等）が意見や考えを持ち寄り、新しい価値観を共に創りあげていくこと。
- 三田市では、少子高齢化をはじめ、この後のスライドにある様々な社会課題に直面しています。その課題へ、市に関わる多様な関係者と協力し、それぞれの持つ資源や知見を活用し、新事業の立ち上げや新しい働き方の創出等へ取り組んでいます。「公民連携」や「産官学連携」もその一つです。
- 「三田市が暮らしやすいまちであり続けるために、垣根を越えた関係を築き上げていくこと」

2. 三田市の課題と展望

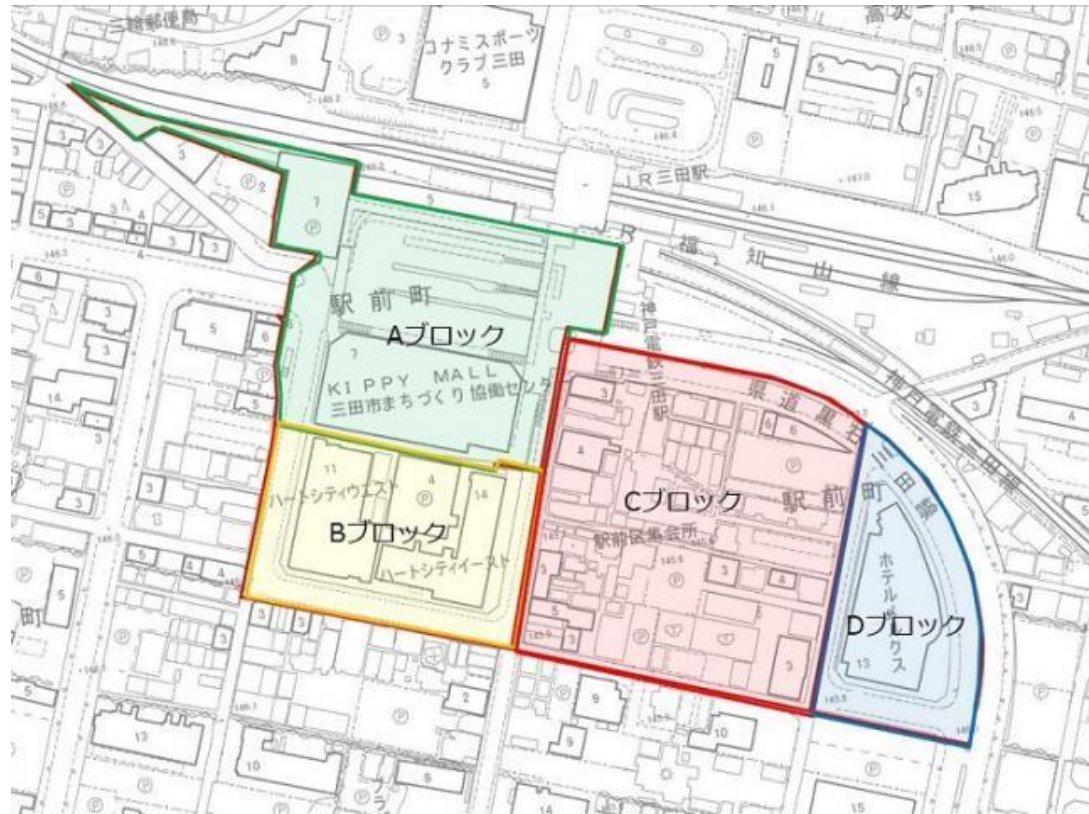
求められる要素



2. 三田市の課題と展望



3. 三田駅前Cブロック地区概要



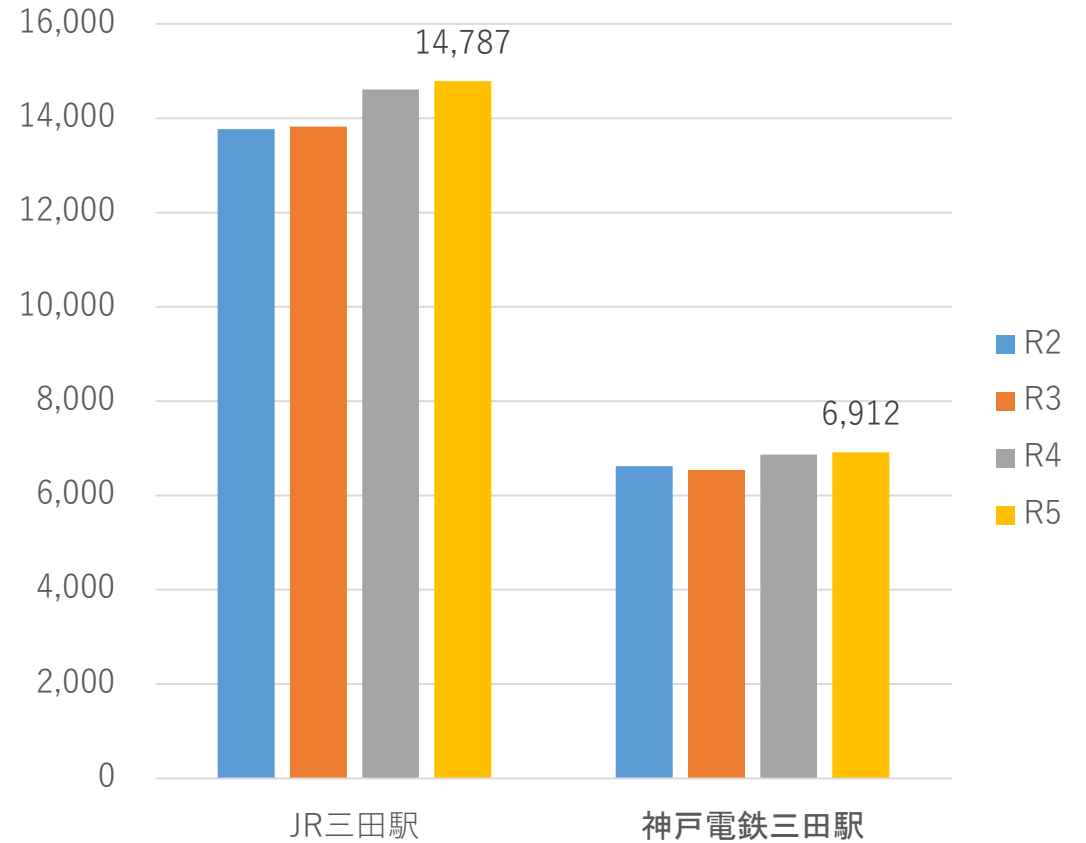
- 三田駅前Aブロック地区：三田駅前一番館（6階建て、まちづくり協働センターを含む31店舗）、駐車場、ペDESTリアンデッキ、等（平成18年工事完了）
- 三田駅前Bブロック地区：住宅（106戸、141戸）・店舗棟、保育園、高齢者支援施設棟（平成29年工事完了）
- 三田駅前Dブロック地区：店舗、駐車場、ホテル（平成14年工事完了）
- 三田駅前Cブロック地区：本施設が入る地区で、駅前再開発の集大成となります

3. 三田駅前Cブロック地区概要



画像：令和5年時点、南側から撮影

各駅乗車人数（1日平均）



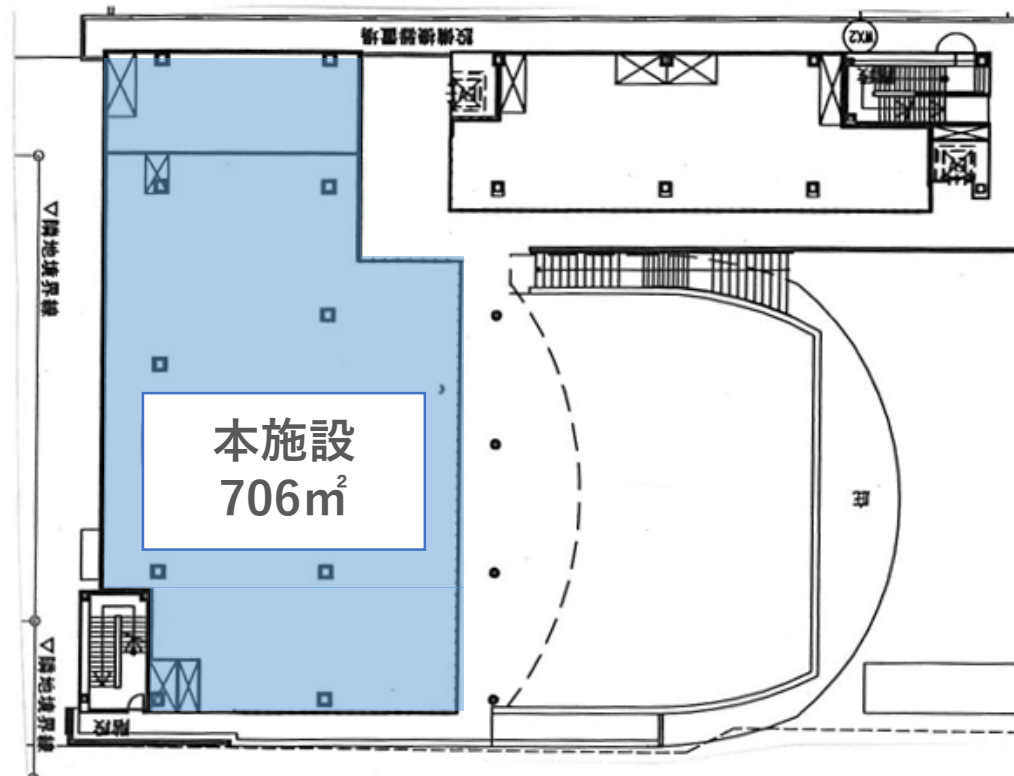
グラフ：三田市統計書

3. 三田駅前Cブロック地区概要

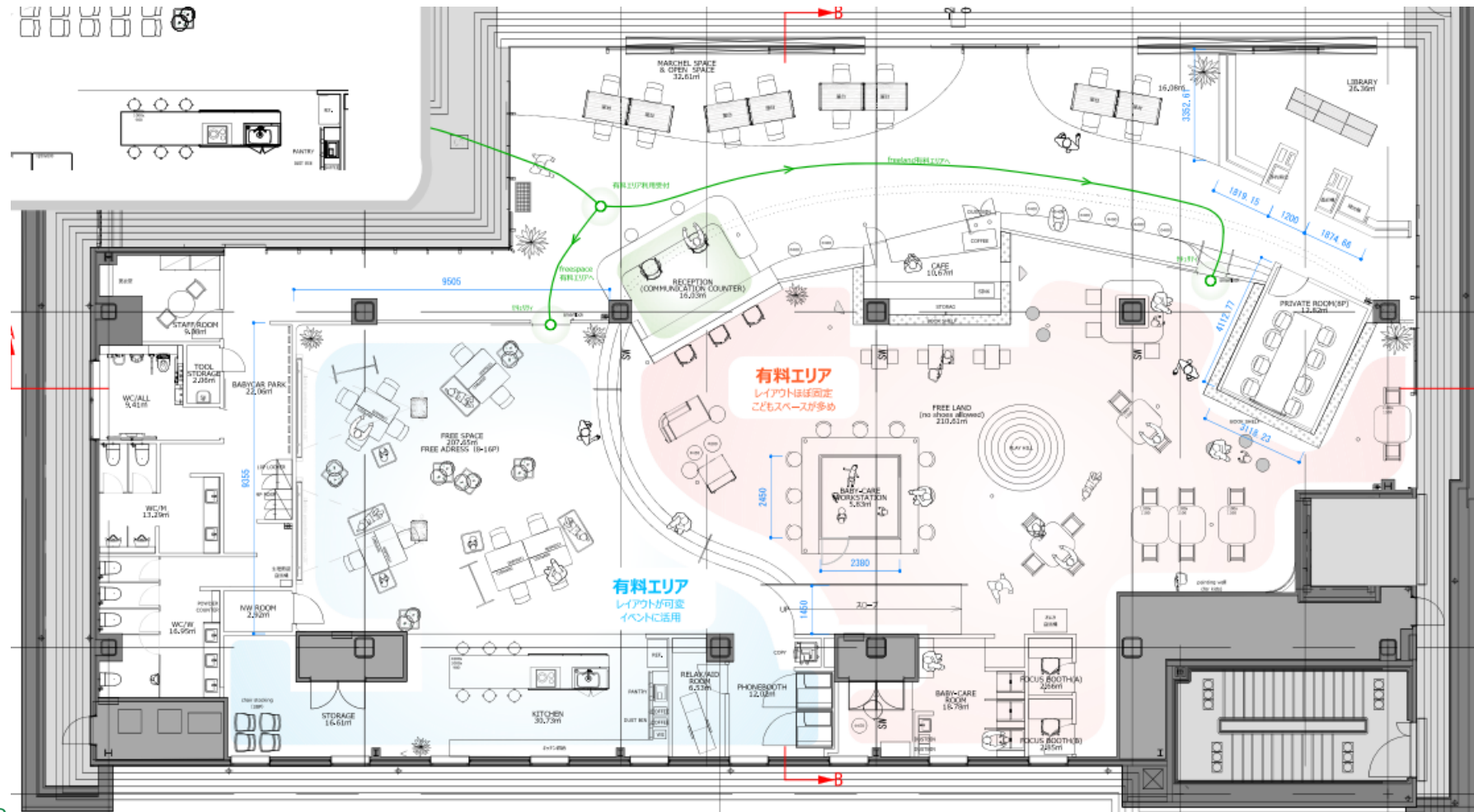
- ・整備スケジュール（R8年度以降は予定）

	Cブロック地区全体	まなびと交流・共創施設	
		運営	設計・工事
R6年度	9月 施設建築物工事着工	運営要件・設計要件整理	
R7年度		運営仕様書作成	実施設計
R8年度		指定管理者の公募・決定 開館事前準備業務	施設内装工事
R9年度	5月 住宅棟1期・商業棟竣工 2月 住宅棟2期竣工	6月 施設オープン	

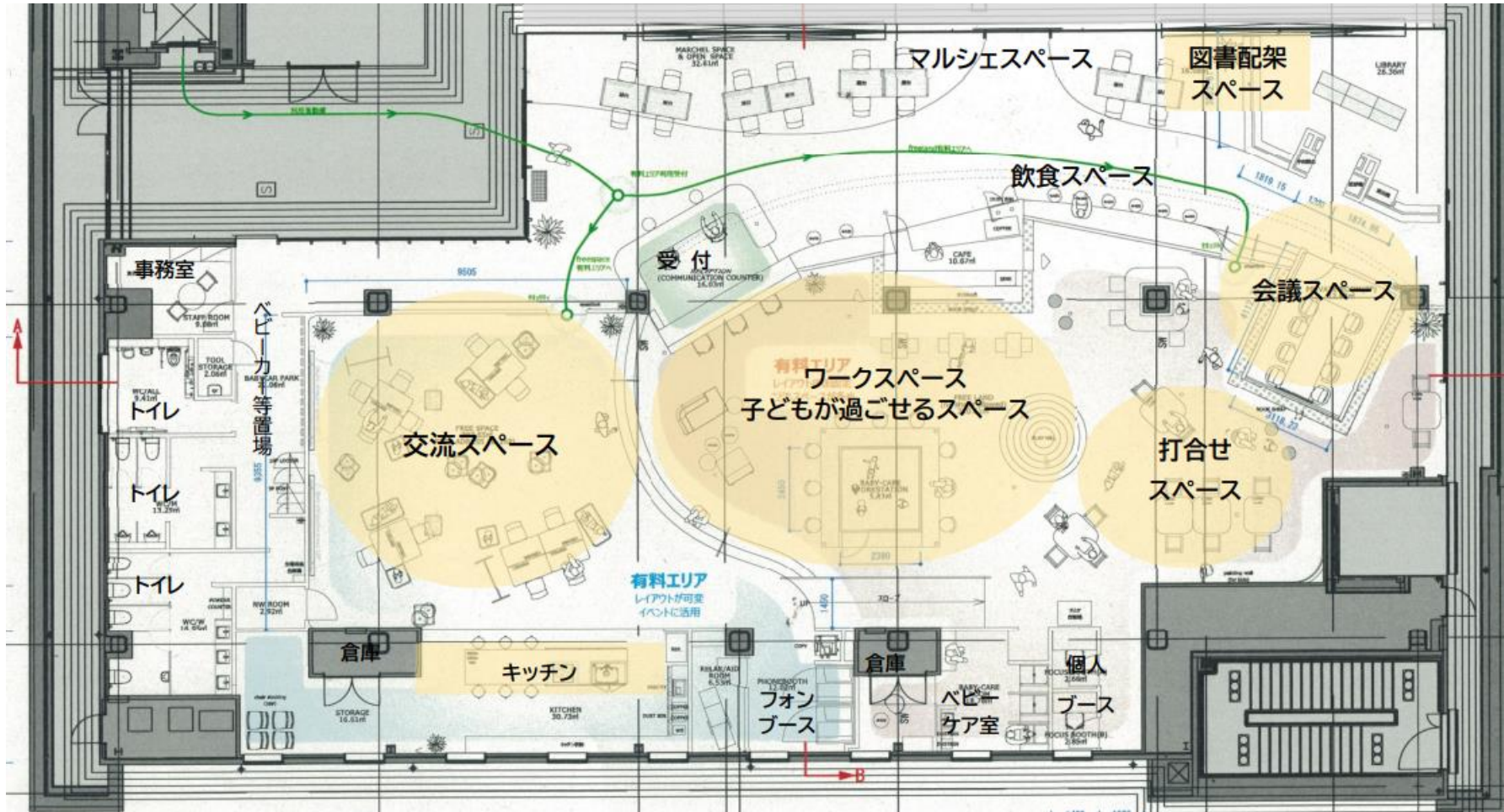
4. 三田市まなびと交流・共創施設



4. 三田市まなびと交流・共創施設



4. 三田市まなびと交流・共創施設



4. 三田市まなびと交流・共創施設

9 設計と条件の整理に係る報告 > 設計 (図面&パース) > 通常時



普段はフリースペースとして利用し、場合によってはテストマーケティングを行ったり、マルシェを開けるようなスペースとして利用

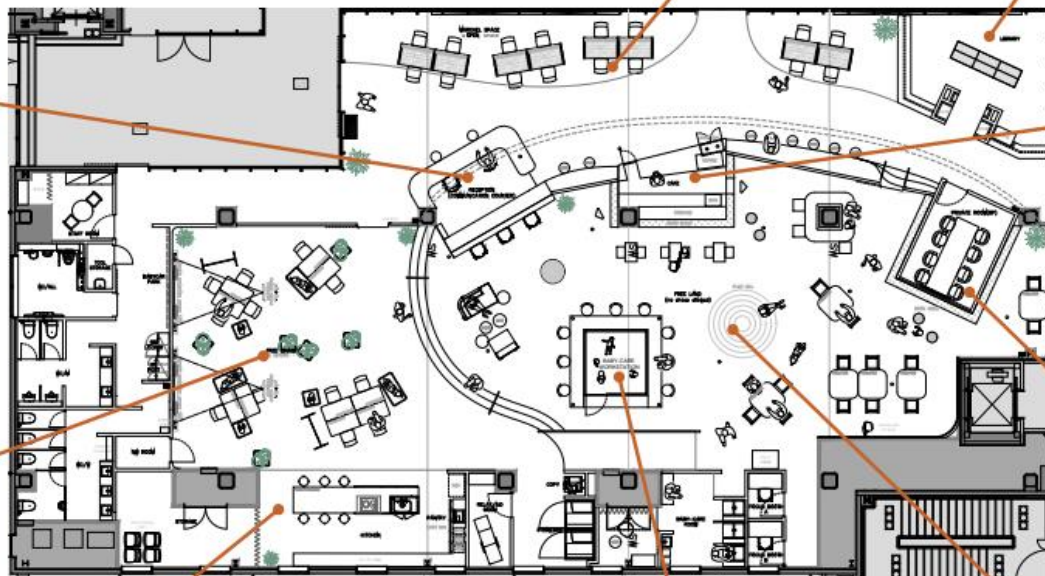
スモールライブラリースペースとして、施設のコンセプトに合わせ、若者、子育て世代、起業家等のニーズに合わせて運営を行う



施設の顔となる受付。多様な世代が利用する時に必ず通るコンタクトポイント。スタッフは施設運営だけではなく、地域の担い手としてイベント企画や地域活動団体とも積極的に交流する必要があるため、複数人で施設の運営にあたる必要がある。



普段は仕事や勉強などができる場所として提供。カフェスペースはお弁当や食器などを洗浄したり、持ち寄ったコーヒー、紅茶などを作ったりできる。イベントスペースとして貸出可。



調理を伴わない簡易的なカフェとして運用を想定。施設利用者の他、テラス利用者にも提供。



多目的のルームとして、様々な用途として活用。会議室、オンライン会議、講師控室、サークル活動、市民活動、外部利用貸出可。



クッキングイベントや個人事業や起業した方のテストキッチンとして利用を想定。予約がない時は施設利用者が自由に利用可能



小さい子供が動き回っても大丈夫なように囲いを設置。囲い周辺で作業ができるようにし、見守りながら作業ができるスペース。子供がいない時は作業スペースとして活用。



朝昼は高齢者や子育て世代がゆっくりと過ごす場所として利用し、夕方以降は仕事や勉強ができるスペースとして利用

confidential

4. 三田市まなびと交流・共創施設



4. 三田市まなびと交流・共創施設

・まなびと交流・共創施設条例（令和7年12月公布）※抜粋

第1条 市民一人一人の成長につながる多様な学びを支援するとともに、世代や属性を超えた交流を促進する場と機会を提供し、新たな価値をもった取組の創出や市民の自己実現を図る等により、地域社会の活性化に資するため、三田市まなびと交流・共創施設（以下「共創施設」という。）を設置する。

第3条 共創施設は、第1条の設置目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 職業能力の開発及び向上等の生涯にわたる学びの支援に関すること。
- (2) 世代又は属性を超えた交流の推進に関すること。
- (3) 起業、創業及び地域活動に対する意識の高まりに関すること。
- (4) 事業者及び高等教育機関等との連携並びに地域情報の提供等による活動支援に関すること。
- (5) 三田駅周辺を起点とした地域社会の活性化に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、第1条の設置目的を達成するために必要な業務に関すること。

4. 三田市まなびと交流・共創施設

・まなびと交流・共創施設条例（令和7年12月公布）※抜粋

第5条 共創施設を使用できる時間は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1)土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日 午前9時から午後6時まで

(2)前号に掲げる日以外の日 午前9時から午後9時まで

第6条 休所日は、12月29日から翌年1月3日までとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、休所日を変更し、又は臨時に休所日を設けることができる。

区分		単位	使用料の額
市民(市内に在住し、在勤し、又は在学する個人をいう。以下この表において同じ。)	会議室	30分	220円
	共創スペース	1日	2,000円
		1月	10,000円
市民以外の者(個人に限る。)	会議室	30分	440円
	共創スペース	1日	3,000円
		1月	15,000円

備考

1 使用者（市内に在住する者を除く。）が営利を目的として会議室を使用するときは、使用料の10割に相当する額を加算する。

2 1月の単位で使用の承認を受けた者が月の中途から使用を開始し、又は終了する場合の当該月の使用料の額は、日割りによって計算して得た額とする。

4. 三田市まなびと交流・共創施設

- セミナー・勉強会・市民講座（大学や民間企業等のアドバイザー機関と連携し実施）
- （業種・世代間の）交流会
- チャレンジショップ
- 親子で同時に参加できるプログラム
- 中学生の部活動移行に伴う、学びを土台とした企画

	平日	休日
9:00～13:00	読書会 ランチ会 子育て世代向けスキルアップ教室 シニア層、未就学児向けボードゲーム	お仕事体験 マルシェ 親子キッチン
13:00～17:00	子育て世代向けイベント 中高生の課題活動 保護者世代向けチャレンジショップ	アニメや映画を通じた多世代交流イベント カフェ・調理を中心とした多世代交流イベント
17:00～21:00	ビジネス交流会 社会人と学生のマッチング企画	なし（仕事や学習のためのワークスペース活用をメインにする）

4. 三田市まなびと交流・共創施設

- ・ イベント例（他施設事例）



5. 関連施設等（まちづくり協働センター）

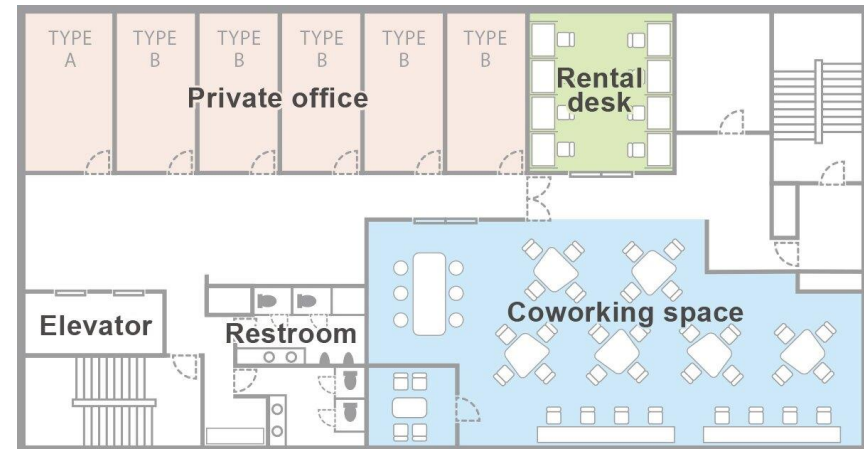
- 場所：三田市駅前町2番1号6階（本施設に隣接する建物内）
- 面積：3,019.5m²
- 設置目的：市民活動の拠点として総合的に支援、市民相互の交流の促進
- 設備等：多目的ホール、会議室（4室）、幼児室、調理実習室
- 運営者：三田市
- 備考：
 - 年末年始を除く10時～22時まで開館
 - 多目的ホールは270人収容可能
 - 1日平均利用者数135人、年間約5万人（会議室等）



※利用実績は令和6年事務報告書より

5. 関連施設等 (CORELAB SANDA)

- 場所：三田市天神1丁目5-33（本施設から1km）
- 面積：約500m²
- 設置目的：起業創業支援による地域活性化
- 設備等：コワーキングスペース、レンタルデスク、プライベートオフィス
- 運営者：三田市商工会
- 備考：外部講師によるセミナーや
中小企業診断士による相談会



三田市商工会起業家支援施設 CORELAB SANDAホームページ
<https://sanda.or.jp/incubation/>

5. 関連施設等（関西学院大学Spark base）

- 場所：三田市学園4丁目2番
- 面積：約1,100㎡
- 設置目的：起業や社会課題の解決等を目指すインキュベーション施設
- 設備等：ラウンジ、クリエイティブスペース、オープンワークスペース、会議室、レンタルオフィス、カフェなど
- 運営者：関西学院大学
- 備考：R7年4月オープン



関西学院大学 Spark baseホームページ
<https://sparkbase.kwansei.ac.jp/>

5. 関連施設等（高等教育機関）

- 大学等（学生数 約7,050人）※いずれも三田市との連携協定締結校
 - 関西学院大学 神戸三田キャンパス
総合政策学部・工学部・生命環境学部等、インキュベーション施設（R7年春開設）
 - 湊川短期大学
人間生活学科、幼児教育保育学科
 - 神戸医療福祉専門学校
理学療法士科、作業療法士科、救急救命士科、義肢装具士科等
- 高等学校（学生数 約4,140人）
 - 県立有馬高等学校
 - 県立三田西陵高等学校
 - 私立三田学園中学校・高等学校
 - 県立北摂三田高等学校
 - 県立三田祥雲館高等学校
 - 私立三田松聖高等学校
- 兵庫県立人と自然の博物館

5. 関連施設等（市事業）

- 地域活躍人材育成プログラム「スモカモス・プロジェクト」
 - 概要：地域団体や市内企業が抱えるミッションを一緒に考える体験活動を通じて、自分や地域の可能性を考えるプログラム
 - 対象者・人数：三田市内に在住・在学の若者（大学生、短期大学生、専門学校生の方など）年間30人程度
 - 主な内容：全3回のワークショップ、活動体験および成果発表会
 - 備考：協力事業者 市内事業者を中心に約30社



5. 関連施設等（市事業）

・こうみん未来塾

- ・ 概要：科学技術に親しみを感じる子、グローバルに活躍する気概を持つ子、チャレンジ精神旺盛な子を育成するため、地域や教育機関、民間企業との協働により開催
- ・ 対象者：主に小中学生
- ・ 主な内容：（下記は探究コース）

	内容
マネ育®クラス	おかしな株式会社で学ぶ～お金と社会のしくみ～ （講師：キャサリン＆ナンシー）
天文・宇宙クラス	三田から宇宙の不思議に旅立とう！ （講師：さんだ天文クラブ）
キャリアデザインクラス	将来のなりたい自分をワクワクしながら見つけよう！ （講師：カラータイプ教育アドバイザー、国際教育家、他）